

# 令和8年度 御室小学校 学校方針

令和8年4月1日

校長 若本 好白

## 0. はじめに

本校が築いてきた歴史と伝統は十分に継承しつつ、今日的な課題と将来展望を明らかにし、主体的、協働的に取り組み、次代を担う「御室っ子」の育成に努める。

個々の児童の育成は、学級担当の個業の中だけで行われてきたかのような「これまでの働き方」から、**学年でそして、学校総体での取組**であることを再確認し、その**方策と実践を意図的、計画的にさらに積重ねよりよいものにしていく1年として、今年度を捉える。**

## 0. 事故のない学校体制（不安を予測し、共有し、対応する）

1. 働き方改革（「**学年経営の充実**」教科担任制の効果的な導入、学年の壁をできるだけ低くする）
2. 教職員の資質向上（**同僚性を基盤とした職能成長**、教職員の誇りと**専門性の向上**を意識した学び）
3. 授業の現代化（**主体的・対話的で深い学びの構築**、ICTの日常的な活用）
4. 学力向上（**授業力の向上**、学びを支える**学年に即した学習規律**と**発達段階の合わせた読書習慣の育成**）
5. 体力向上（**体を動かす時間の創出**：**主体的な外遊びのハード・ソフトの充実**、**体育科の授業改善**）
6. 総合育成支援対応の充実（**学年での個々の児童の見取り**、**育成学級・L通教室との連携**）
7. 生徒指導対応の充実（**生徒指導の4つの視点をふまえた学習指導**・**主任を中心とした情報交換と学年指導体制の確立**・**ケース会議等の充実**）
8. 登校指導の徹底（**登校時の出欠確認の徹底**・**不登校指導のしなやかさ**・**児童、保護者の事情・背景を探る**）

## 1. 学校経営方針

### (0) 子どもの命を守り切る

教職員は、事故の危険と危機意識を感じ、リスク回避の知識・技能を持つ。（HANAモデルによる訓練の実施）

**令和8年度、右北支部の公開実地訓練**

児童は、自ら安全を意識し、安全な行動を学び、実践する。

### (1) 楽しい学校

児童も教職員も自らの成長を感じ、仲間と喜びを共有できる学校

### (2) 学力・体力向上

学力向上（**楽しい授業**：自らの成長を感じ、仲間と喜びを共有できる授業実践）

体力向上（**楽しく体を動かすためのハード・ソフトの充実**）

### (3) 働き方改革

学校における働き方改革の目的は、教師のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに、日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるようになること。（中教審答申 H31.1.25）

#### ○学年経営の充実を図る

・学年担任制（学級担当は決めるが、学年でみていく。）

・学年通信の簡略化（学校HPで伝える）

・HPの定期更新：週1回以上 子どもの様子（写真中心に）

#### ○教科担任制の充実（教科主任を中心として**指導力向上に努める**。**教科主任を中心とした研鑽・研修**）

○通常**18時30分セット厳守**（**金曜日18時セット**（**電話対応8:00～17:30** やむを得ず超過する場合は、管理職に相談する）

○参観・運動会等の行事は、すべて平日に

- 部活動：(今のところ)5月～11月まで(約6回程度)とする。(話しあい、教材研究の時間を確保)  
バレーボール、卓球、陸上、ソフトテニス、茶道(ソフトテニス・茶道は、地域指導者おられる)

## 2. 学校教育目標 「しなやかに がんばる 御室っ子」

### (1) 「しなやかに」(相手の話を聞くやさしさ)

「すべてを受け入れる柔らかさの中に、自分らしさ(芯)をしっかり持っている」

- ・どのように伝わるか、最後のイメージをもって、伝える。不快な思いにさせない。そのための語彙を豊富にもつ。
- ・自分と相手の考えの違いを受け入れ、その上でどうすればよいか、何が大事かを判断する。
- ・周囲の人々とうまく付き合いながら、お互いのよいところを引き出し合うことができる。

### (2) 「がんばる」(めあてをもってねばり強く)

「自分の夢や目標に向かって頑張れる強さ」

- ・うまくいくと思えるからこそ今の努力が楽しめ、明日への活力となる。(寄り添いと励まし)
- ・学力の向上と体力向上を目指す。  
自らの成長を感じ、仲間と喜びを共有できる授業実践(学力向上プロジェクトチーム)  
体力向上に向けてのハード・ソフトの改善(体力向上プロジェクトチーム)

### (3) 「御室っ子」(誇りと感謝)

「御室」を大切に思い、地域に大切にされる子どもを育てる。

- ・生活科、総合的な学習の時間を中心に、地域の良さ(人・環境・歴史等)を知り、今の自分、将来の自分とのつながりを考え、誇りと感謝の気持ちを培うことを目標とする。

## 3. 目指す子ども像

- (1) やさしい子(思いやり・信頼関係・いじめをしない仲間)
- (2) がんばる子(課題解決力・学力向上・体力向上)
- (3) げんきな子(健康管理・あいさつ・規範意識)

## 4. 教職員の責務

### (1) 教育基本法 第9条 1項

「法律の定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。」

### (2) 目指す教職員像

- ・児童理解に努め、いろいろな視点から情報を集められる教職員
- ・児童、保護者、地域、教職員と伴走する教職員
- ・気づき、工夫を共有し、課題を解決する教職員・
- ・チームワークのよさを活かし、高め合う教職員

## 5. めざす子ども像におけた方向性や取組など

### 1. 安心・安全にかかわる指導

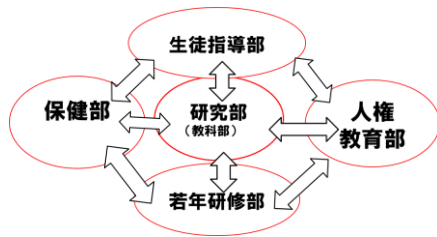
- ・児童の健康管理、校内の安全管理
- ・命を守りきる(2年N児)
- ・いじめは、迅速、丁寧に対応
- ・給食(アレルギー)指導
- ・避難訓練(HA NAモデル)など

**大きくとらえて、小さくまとめる**

→ 「子どもの命を守り切る」 Hana モデルの現地訓練・「自分の命は自分が守る」

## 2. 研究部を中心とした学力向上・人間性等の涵養において

### 相互連携した組織的な授業づくり



① 資質・能力に関わる**子どもの姿の共有**（協働的に課題を解決する力）

② **問いを見出し主体的、協働的に、めあてを達成する授業力の向上**

③ 研究授業→日々の授業へ汎用

④ **道徳科の授業・人権教育・生徒指導の4つの視点・**

⑤ **総合育成支援の視点**での指導

⑥ 児童会活動（たてわり、全校合唱）など

\*R8年度 小学校人権教育研究集会の提案（R7年度 7月30日小学校人権教育研究集会への参加）

\*R9年度 右北支部の社会科（同和単元）の公開授業

## 3. 健康（心、体）面の充実

① 体育科・保健・学校行事等の充実

② 教育相談・スクールカウンセラー

③ ケース会議の活用

④ 児童および保護者との顔が見える連携

⑤ 外遊びの推奨

## 4. 同僚性を活かした風通しのよい職場づくり

① **学校全体で、子ども達をみる、情報の共有**を密にする、子ども達は、いろいろな教職員にみられている意識

② **声かけ・タッチ回数をふやす**（チーズモデル・・・事故はなぜ起きるのかを説明するための管理モデル）

チーズの板：1枚1枚の**防護壁**を表す。 → 板の枚数を増やす。

チーズの穴：防護壁にある「**弱点（欠陥やミス）**」 → 穴の連鎖を断ち、**組織的な仕組み**をつくる。

③ 校内研修会・学年会などを活用した教職員のスキルアップ（**全市スキルアップデーの活用**）

④ 報連相の相談を大事にする。相談は、**未来のことであり、優先順位は高い**

## 5. その他

① 電話対応 8:00～17:30

② 学校セット 18:30・金曜日18:00

③ 全市スキルアップデー（第4金曜日）

→全学年5時間（完全下校）

④ あいさつの徹底

・まずは、校内で**自然に挨拶**ができる。

・登下校時に**自分から挨拶**ができる。

・お世話になっている方の名前を言ってあいさつをする。

・「あいさつ」するだけでなく、お礼も言う。

## (6) 働き方改革

① 資料・情報の共有（作業ルーティーンの見直し）

・校務支援システムC4th・Teamsの活用

・職朝（長期休業・必要性に応じて）**毎週水曜日の放課後、終礼**（朝の時間確保・連絡事項の徹底）

② 校務支援員の活用

・校務支援員に依頼できる仕事は、極力依頼する。

③ マニュアル化の理解と促進

・誰がやっても、間違いを起こさない。例) 生徒指導の対応例(加害児童→被害児童への連絡など)

④ 時間外勤務の縮減

・通常18時30分にセットする(例外の日、長期休業等を除く) 電話対応8:00~17:30分  
(金曜日は、18時)

(7) 研究

① 研究を「主体的・対話的で深い学び」の実践とする。

研究委員会主体で研究を進める。

② 音楽研究の財産継承

・全校合唱、オムロワールドの合唱指導

③ 全体的な学力向上への取り組み

・GIGA 端末(ドリル等)の活用等、学力向上に向けて、学校全体で取り組む。

④ 教科部会・スキルアップ研修等の実施

⑤ 学力向上にむけて

・研究部・教科部等による授業公開、ジョイントプログラム等の分析、考察と対策など

(8) 生徒指導

① 「御室校のやくそく」の徹底

② 生徒指導体制の徹底

③ 登校指導の徹底

④ 児童会担当との連携

⑤ 生徒指導の4視点をふまえた学習指導(研究部との連携)

(9) 各種取組

① 運動会・学習参観

・運動会は、全学年で一体感をもって実施する。(午前のみ)

・学習参観は、研究部より、後日、提案(研究部より発信)

② 学校HP

・学年もあげていく。(普段の様子を写真中心に簡単に)

・学年週に1回程度(紙文書でのおたよりに代わり、学校HPを活用して学校の様子を発信)

⑤ 部活動

・5月~11月までの約6回程度となり、交代でみる。

・部活動の時間を15:20~16:20(完全下校)など、1時間以内に限定する。

(地域の方(お茶クラブ・ソフトテニス部の地域指導者)への連絡・調整)

・部活動を交代で見る